

ちばの博物館

<http://www.chiba-web.com/chibahaku/>

発行・編集
千葉県博物館協会
〒260-8682
千葉市中央区青葉町955番地
千葉県立中央博物館
TEL.043-265-3111

楽しく歴史を学べる場に —船橋市郷土資料館—

船橋市郷土資料館は、昭和47年に開館し、翌48年に博物館登録認定を受けた博物館です。耐震補強工事と、バリアフリー化・展示リニューアル等のため、平成27年10月から休館していましたが、平成30年1月28日に、新しくなった郷土資料館がオープンしました。

1階には、ミニ展示コーナーと図書コーナー、市内の史跡等を紹介するタッチパネル式の「まちの歴史ナビ」を設置しています。

2階の第1展示室は、「船橋を知るフロア」です。まず、展示室の入り口では、船橋の歴史を映像にまとめた「ヒストリー・オブ・船橋」と、各時代の資料と出土した遺跡の位置等を壁面と床面に投影する「船橋の今昔マップ」が見られます。ここで船橋の歴史の概要を学んだ後、船橋の歴史に関するイラストが描かれた「タイムスリップゲート」を通り、通史展示と3つのテーマ展示に進んでいきます。通史展示では、原始から現代までの船橋の歴史を、資料の画像やイラストを多く用いた解説パネルと実物資料から学べます。また、テーマ展示では、「馬たちの風景」「鉄道網の発達」「都市の発展」という3つのテーマを取り上げ、船橋の歴史について掘り下げています。

3階は、「学びと交流のフロア」です。第2展示室では、年3～4回の企画展を開催し、学習室では、市民対象の講座やワークショップを実施する予定です。

リニューアルした船橋市郷土資料館は、幅広い層の方々が、船橋の歴史を楽しく学べる施設です。例えば、テーマ展示「馬たちの風景」では、中世の馬の復元模型とサラブレッドのシルエットを比較し、「鉄道網の発達」では、引き出しに収めた路線図で、鉄道網の時期的な変遷を比べられます。また、「下総三山の七年祭り」や市内の神楽の映像を上映する「伝統芸能と祭り」や、タッチパネルでクイズに挑戦する「船橋ヒストリーQ & A」のように、映像コンテンツも充実しています。

今後、縄文専門館である船橋市飛ノ台史跡公園博物館と連携しつつ、事業を展開していく予定です。



▲第一展示室（古代）



▲外観

◆開館時間／午前9時から午後5時（入館は午後4時30分まで）

◆休館日／毎週月曜日、祝日の翌日（土曜日・日曜日は除く）※5月3日～5月5日は開館、年末年始（12月29日～1月3日）※資料及び施設の管理等のために臨時に休館する日があります（ホームページでご確認ください）。

◆入館料／無料

◆問い合わせ先／電話047-465-9680 FAX 047-467-1399

◆ホームページ／<http://www.city.funabashi.lg.jp/shisetsu/bunka/0001/0005/0001/p011081.html>

◆アクセス／新京成線習志野駅から徒歩約10分、または JR 津田沼駅北口から船橋新京成バス「北習志野駅」「高津団地中央」「習志野車庫」行き・ちばレインボーバス「八千代緑が丘駅」「船尾車庫」「木下駅」「千葉ニュータウン中央駅」行き「郷土資料館」下車徒歩約2分

加曽利貝塚博物館(千葉市) —特別史跡加曽利貝塚—

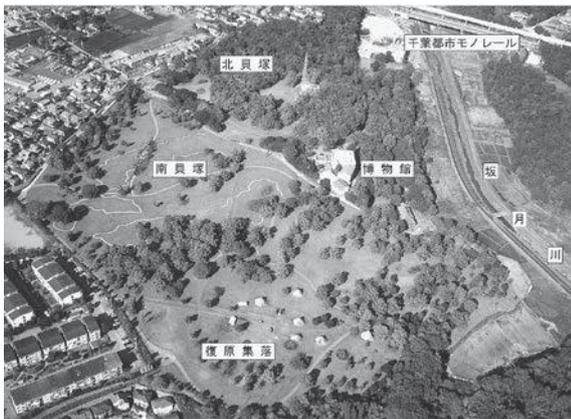
千葉市立加曽利貝塚博物館 山下 亮介

加曽利貝塚は、直径140mで環状の北貝塚と直径190mで馬蹄形の南貝塚が連結する国内最大級の貝塚を含む縄文時代中期から晩期にかけて存在した集落遺跡です。

特別史跡指定地は約15.1haの広さで、公園部分と史跡部分からなっています。

国史跡の指定は、昭和46年3月に北貝塚が最初に指定された後、昭和52年度・昭和61年度・平成28年度に北・南貝塚を中心とした部分とその周辺地域の追加指定が行われ、平成29年10月13日に特別史跡に指定されました。

博物館は、史跡指定前の昭和41年11月に遺跡の一角に博物館本館と収蔵庫等を建設して開館しました。



加曽利貝塚全景

1 加曽利貝塚を中心とした展示

博物館の展示室は、昭和41年度の開館から51年が経過しており、本館2階展示室及び1階から2階に上がるスロープ部分が常設展示スペースになります。

平成27年4月にリニューアルオープンしました。

「加曽利貝塚から縄文時代の貝塚をみる」をテーマに、

- ① 縄文時代の貝塚の分布や変遷、千葉市の貝塚の調査等のパネル展示エリア。
- ② 加曽利貝塚の概要やムラの暮らし、道具や食材などの利用や流通、信仰・埋葬等について出土品等展示している2階展示エリア。
- ③ 発掘の歴史や保存運動の経緯、土器製作技術の研究や史跡整備、協力団体の紹介展示エリア。
- ④ 2階企画展スペース

以上4エリアで展示を行っています。展示品は、加曽利貝塚の出土品を中心に土器・石器等230点余りを展示しています。



常設展示

企画展スペースでは、平成29年度は、夏休み企画「縄文時代ってどんな時代」、9月の秋の小展示「加曽利貝塚と坂月川の自然」写真展、11月の冬の企画展示として加曽利貝塚の保存に多大な貢献をした武田宗久氏の「貝塚の守り人武田宗久」展、3月より「平成29年度特別史跡加曽利貝塚発掘速報展」などを実施しました。

博物館では開館以来、実物を現地で見てもらうという発想のもと、自然環境と共に遺構などをそのまま保存(展示)し、実感できる現地保存型の野外博物館を目指しており、北貝塚では昭和45年に「貝層断面」と発掘当時の「住居跡」をそのまま見学できる野外施設を公開しています。

更に南貝塚とその東側周辺では、昭和63年度から平成5年度にかけて大谷石による貝層表示をはじめ、縄文時代の植生を再現するための植栽工事や復原集落、南貝塚貝層断面観覧施設などを整備し、野外展示として公開しています。



南貝塚貝層断面観覧施設

2 教育普及と協力団体との連携

当館では平成24年度から行っていた「特別史跡の指定に向けた取り組み」や平成28年度より市を挙げて実施している「千葉市都市アイデンティティの確立に向けた取り組み」等に関連して教育普及事業の拡充を図っています。研究講座・土器づくり講座や縄文ひろば

等の体験学習、イベントとしての春・秋の縄文まつりなど新たな企画や内容の拡充を行い、これまで以上に参加者が集まる事業を実施しています。その影響は大幅に増えた入館者数にも反映されています。

このような教育普及活動を効率的に展開して行くためには協力団体との連携が必要です。継続的な協力団体として、「加曽利貝塚友の会」、「土器づくり同好会」、「ボランティアガイドの会」が現在活動しています。友の会は貝塚の保存運動時の「加曽利貝塚を守る会」が解散した後結成された団体で、加曽利貝塚の事業協力等を目的として、講演会・研究会の実施やイベントの協力と図書等の販売を行っています。

土器づくり同好会は、昭和44年度から新井司郎が行った縄文土器製作技術の研究に関連して始まった「土器づくりの会」の参加者の一部で結成されました。土器製作の研究を会として行うとともにイベントでの製作実演や製作解説などの事業協力をしています。

ボランティアガイドの会は、平成15年度から博物館の展示事業や教育普及事業の諸活動を充実・活性化させるために導入・結成されました。博物館の展示解説をはじめイベント時の火おこし体験など学べる体験を企画実施しています。

事業の増加や拡充により協力団体との連携はこれまで以上に欠かせない存在となっています。



火おこし体験

3 加曽利貝塚PR大使 “かそりーぬ”

平成26年7月に千葉市長から加曽利貝塚PR大使に任命されたかそりーぬは、博物館イベントや外部イベントなどでのPR活動の他に市の関係やその他様々な書籍・情報誌などでも活躍しており、加曽利貝塚の周知に多大な貢献をしています。



復原住居とかそりーぬ

4 縄文時代貝塚の価値を高める

千葉市では、平成24年度から過去の発掘調査の再整理実施に始まり、「史跡加曽利貝塚総括報告書」作成、「史跡加曽利貝塚保存活用計画書」策定、史跡の追加指定等を経て、今回指定史跡から特別史跡に指定されました。縄文時代貝塚では初の指定となります。

指定理由としては、縄文時代中・後期の貝塚を含む国内最大級の集落跡、考古学の研究史における重要性、埋蔵文化財保護の歴史、埋蔵文化財の整備と活用に関する先駆性、教科書等を通しての全国的な知名度等の様々な観点から評価され、我が国文化の象徴として特に重要であると認められました。

また、平成29年9月末から12月22日までの期間で遺跡の構造や形成過程等を明らかにするための発掘調査が千葉市埋蔵文化財調査センターによって行われました。史跡内の新たな場所での発掘調査は45年ぶりです。調査は、来年度以降も継続する予定です。



発掘調査風景

5 「特別史跡加曽利貝塚」としての博物館展望

特別史跡加曽利貝塚を将来に向けて保存・活用するため、加曽利貝塚ランドデザイン及び史跡整備基本計画を策定し、推進していきます。現博物館など既存の施設の活用を前提とした短期的整備と新博物館建設や縄文時代の景観の復元等環境整備を前提とした中長期的整備に区分して史跡整備を実施し、また地域交流・体験学習・継続的な発掘と調査研究、特性を活かした展示などの活用事業も同時に展開して、加曽利貝塚の魅力向上を図っていきます。

【施設概要】

名 称 千葉市立加曽利貝塚博物館
 所 在 地 千葉市若葉区桜木8-33-1
 休 館 日 月曜日、祝日の翌日（土曜日・日曜日は除く）、年末年始（12月29日～1月3日）
 開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
 入 館 料 無料
 問い合わせ先／電話043-231-0129

平成29年度研修会参加報告

野田市郷土博物館 柏女 弘道

平成29年12月4日（月）、平成29年度千葉県博物館協会研修会が佐倉市立美術館で開催された。テーマは「博物館における展示照明について」。博物館資料の本質や魅力を引き出すための知識や技術の習得と、照明を活かした展示効果の更なる向上を目的とし、講師には、美術照明家で合同会社サムサラ代表の竹下誠司氏を招いた。

冒頭の八千代市立郷土博物館の清藤館長のあいさつの中で、展示室の中が真っ暗で展示ケースの一部のみを照らすなど、演出性を高めすぎていて身近さに欠けると感じたという感想や、ガリ版刷りの資料などは、明るさによって非常に見えづらいなどの感想が述べられていた。



清藤館長による挨拶

象は大きく変わるため、照明技法の基礎や新しい技術を学ぶことは大いに意味があると感じられた。

講座では、講師が手掛けた展覧会などのスライドを投影しながら、展示資料ごとに詳しい解説がなされた。



竹下誠司氏

資料ごとの主な注意点は以下の通りである。

日本画（掛け軸・屏風・障壁画・卷子）

照度は低めで70ルクス程度が良い。2本の蛍光灯を設置するタイプの器具には、白色と電球色の博物館・美術館用の蛍光灯を入れる。白色だけでなく、電球色などで赤を入れることで視認性が向上する。特に肌色の色合いなどは白い照明だけでは表現しづらい。蛍光灯とスポットライトの組み合わせでも同じである。

実際に照明の仕方次第で来館者の展示の理解度や印

ぬいぐるみの製造、販売
株式会社 エスティー



可愛い動物のぬいぐるみを数多く、生産、販売しています。
オリジナル商品の開発、生産も承ります。

www.auroraworld.jp

虫菌害対策(ガスくん蒸)・生物生息調査・空気環境調査

文化財保存の
エキスパート
ECC 環境コントロールセンター

【本社】(環境部・研究開発室・営業部・総務部・経理部・情報管理室)
〒260-0806 千葉市中央区宮崎1-22-10
TEL 043-265-2261 FAX 043-261-0402
URL http://www.e-c-c.co.jp

屋内外広告物全般 企画・製作・施工

ステンレス・アルミ製各種看板・電飾看板
道路標識・街路表示板・観光絵看板
各種横断幕・懸垂幕・のぼり旗
プラスチック製品加工

千葉県屋外広告業登録 第202号

有限会社 大窪美術工房

〒262-0002 千葉市花見川区内山町191番地
TEL 043(257)1221(代) FAX 043(257)1224
E-mail: art-studio.okubo@apost.plala.or.jp

油絵（西洋画各時代・近代日本・現代画）

照度は150ルクス程度が良い。表面に凹凸があり、ニスが光りやすいうえに、額の影なども出るため、光の入射角度に注意する必要がある。正面真上から光を当てるのではなく、左右の離れた位置から均一に光を当てることで表面の照りを逃がすことができる。日本近代の洋画は蛍光灯では色は出にくい。

陶磁器（茶碗・絵皿・壺・現代陶芸）

茶碗等の側面に光を当てるには、資料の下に淡い色の反射板等を置くとよい。

彫刻（仏像・人体彫刻・現代彫刻・オブジェ）

彫刻などの立体物は、影の扱いが重要になる。様々な方向から光を当てると影がたくさん出て展示の美しさや見やすさを損ねてしまう場合がある。資料の影が壁にきれいに写るようにする展示方法もある。

仏像の場合は資料が光らないようにバックライトを設置したり、四方から光を本尊に集中させるなどの方法がある。



事例紹介

このほか、光の芯が資料の強調したい場所に当たっているかは肉眼では確認が困難なため、デジタルカメラで展示風景を撮影してみると、照明のあたり具合がよくわかるといった話や、高さ150cmほどの位置にある資料に対しては、光の入射角は30～35°が適しているという話、資料保存のために照度を落とすと、必然的にキャプションは読みづらくなるため、明朝体よりもゴシック体の方が適していることなどの説明があった。

資料ごとの具体的な説明に多くの時間が割かれ、予定していたLED照明の説明や照明実技の時間がなくなってしまったのは残念であったが、改めて照明が展示に与える効果を実感することができた。

照明は展示全体のデザインと大きなかかわりを持つため、レイアウトを行う際は照明方法まで考えて行うことが必要であるとのことであった。また、資料の設置を終えた後、数日かけて照明だけを調整した事例なども紹介され、展示照明の作業は決して片手間でできるものではないことを改めて感じる機会となった。

展示照明の設備は日進月歩であり、次々と新しいものが開発されてきている。その全てについて理解し、活用していくことは容易ではない。また、展示照明は個々の施設に備え付けられた設備に制限されることが多く、全ての館で理想的な照明を行うことは難しい。しかし、照明が展示に与える効果を正しく把握し、各館の設備・予算の中でできる限り手法を模索していくことが必要であろう。

印刷物

のことならおまかせください!!

チラシ・ポスター・POP・シール・名刺・封筒・
ハガキ・DM・カタログ・パンフレット・伝票etc

有限会社エーワンネットワーク
〒273-0015 船橋市日の出2-2-13 第2ナカイビル102
営業時間/9:00~18:00 定休日/日曜・祝日
TEL.047(437)6208



関東港業株式会社
KANTO KOGYO Co., Ltd.

Protect Cultural Assets !!

IPM理念に基づいた
保存環境の調査～提案・施工まで
文化財保存対策なら当社にお任せ下さい

専用くん蒸庫完備
(各種薬剤対応)
28m/9m対応

各種くん蒸施工・環境調査・クリーニング・資料保存用品 ect

〒261-0002
千葉市美浜区新港58-2
TEL 043-241-1721 FAX 043-241-0080
http://www.kan-ko.jp

水族館・動物園等の企画 / テーザイン・設計・施工・管理
ONY KOBO CO., LTD.
株式会社 兎工房
東京都千代田区神田神保町 2-48
〒101-0051 TEL 03-3221-1102 FAX 03-3221-1183

* 春から秋の催し (4月~9月) *

館園名・行事の種類	行 事 名	開催期間・期日	館園名・行事の種類	行 事 名	開催期間・期日
●市原湖畔美術館	TEL 0436-98-1525		●千葉経済大学地域経済博物館	TEL 043-253-9843	
展 覧 会	ひびのこづえ展 60 rokujuu	4月6日~6月24日	講演会・講座等	古文書相談室	6月9日
その他イベント等	展覧会関連パフォーマンスプログラム「FLYING SWAN」 パフォーマンス: 高地保武	4月21・22日、5月12・13日	●千葉県立関宿城博物館	TEL 04-7196-1400	
●浦安市郷土博物館	TEL 047-305-4300		展 覧 会	パネル展「高瀬船」	4月24日~7月1日
展 覧 会	伊能忠敬没後200年記念「伊能大図複製パネル」特別展示 及び新収蔵品展「測量をめぐる浦安の偉人 宇田川徳太郎 ~ロシアとの国境線をつけた男~」	開催中~4月22日	展 覧 会	すごろクイズ「川辺の虫たち」	7月3日~9月30日
講演会・講座等	伊能忠敬の生涯と伊能図	4月15日	展 覧 会	学習キット展示	8月21日~9月2日
その他イベント等	樺太日露国境天測標石を見に行こう! ~明治神宮外苑 聖徳記念絵画館の見学会~	4月14日	●千葉県立中央博物館	TEL 043-265-3111	
●金谷美術館	TEL 0439-69-8111		展 覧 会	春の展示「ところ変われば備えも変わる あなたの街と自然災害」	開催中~5月27日
展 覧 会	金谷美術館コンクール2017	開催中~4月22日	展 覧 会	恐竜ミュージアムinちば	7月14日~9月24日
展 覧 会	堂本印象展 (前期)	4月29日~7月1日	●千葉県立中央博物館大根分館	TEL 0478-56-0101	
展 覧 会	堂本印象展 (後期)	7月5日~9月2日	展 覧 会	トピックス展「利根川の渡り鳥」	4月1日~5月6日
●鎌ヶ谷市郷土資料館	TEL 047-445-1030		展 覧 会	企画展「利根川下流域の舟運 船大工の技術と生活」	5月26日~6月24日
展 覧 会	企画展「鎌ヶ谷・おふだづくし~信仰の玉手箱~(後期)」	開催中~5月27日	展 覧 会	夏休み展示「カップとナマズ」	7月14日~8月31日
●鴨川シーワールド	TEL 04-7093-4803		●千葉県立中央博物館大多喜城分館	TEL 0470-82-3007	
講演会・講座等	動物友の会 月例会	4月14・21日、5月19・26日、 6月16・23日、7月21・28日、8月18・25日、9月22・29日	その他イベント等	地域連携事業「大多喜さくらまつり」	4月7-8日
講演会・講座等	ジュニアトレーナー	6月9・10・16・17・23・24・30日、7月1・7・8日	その他イベント等	体験教室「甲冑・小袖・袴の試着」	6月15日
講演会・講座等	サマースクール	7月23・24・25・26・27・30・31日、8月1日	展 覧 会	収蔵資料展「職の世界」	7月12日~10月21日
●木更津市郷土博物館のすず	TEL 0438-23-0011		●千葉県立中央博物館分館海の博物館	TEL 0470-76-1133	
展 覧 会	館蔵資料展「絵画資料に見る明治時代」(仮称)	開催中~6月24日	展 覧 会	平成29年度マリンサイエンスギャラリー「房総の海の幸」	開催中~5月6日
その他イベント等	博物館でお花見を	4月7・8日	展 覧 会	平成30年度収蔵資料展「千葉の海 貝づくし」	7月14日~9月2日
●君津市立久留里城址資料館	TEL 0439-27-3478		●千葉県立房総のむら	TEL 0476-95-3333	
その他イベント等	よろい武者に変身!(甲冑試着体験)	5月3日~5月5日	その他イベント等	さくらまつり	4月7・8日
●航空科学博物館	TEL 0479-78-0557		その他イベント等	春のまつり	5月3日~5日
展 覧 会	成田空港飛来機展	4月3日~5月13日	展 覧 会	「千葉寺地区の遺跡展」(仮称)	7月14日~9月24日
展 覧 会	成田空港開港40周年展(仮称)	5月19日~7月22日	●千葉市美術館	TEL 043-221-2313	
展 覧 会	命を救え!ドクターヘリ展(仮称)	8月1日~10月	展 覧 会	百花繚乱列島 -江戸諸国絵師めぐり-	4月6日~5月20日
●国立歴史民俗博物館	TEL 043-486-0123		展 覧 会	岡本神草の時代展	5月30日~7月8日
展 覧 会	企画展示「世界の眼でみる古墳文化」	開催中~5月6日	展 覧 会	木版画の神様 平塚運一展	7月14日~9月9日
展 覧 会	第3展示室 特集展示「錦絵in1868」	4月17日~5月20日	●千葉市立郷土博物館	TEL 043-222-8231	
展 覧 会	企画展示「ニッポンおみやげ博物誌」	7月10日~9月17日	講演会・講座等	千葉市史研究講座「千葉市域や近隣地域の歴史を学ぶ」	9月29日、10月20日
●山武市歴史民俗資料館	TEL 0475-82-2842		●長南町郷土資料館	TEL 0475-46-1194	
展 覧 会	「左千夫の原稿」前期	開催中~9月9日	展 覧 会	子どもたちの作った長南袖風展 (仮称)	5月
その他イベント等	左千夫春の宴 ゆづりは茶会	5月6日	●DIC川村記念美術館	TEL 043-498-2672	
●城西国際大学水田美術館	TEL 0475-53-2562		展 覧 会	ブリジット・ウィリー展	4月14日~8月26日
展 覧 会	浮世絵でつづる房総人物伝 アウトローたち		●成田山書道美術館	TEL 0476-24-0774	
展 覧 会	1切られ与三郎 Ⅱ東金茂右衛門・天保水滸伝	5月15日~6月30日	展 覧 会	成田山開基1080年記念 成田山の美術	4月28日~6月10日
展 覧 会	《昭和職業絵巻》にみる戦前のくらし(仮称)	7月10日~8月4日	展 覧 会	開館25周年記念 明治150年の書I	6月16日~8月26日
展 覧 会	ホルバートコレクション展近代木版画に描かれた都市と女性(仮称)	9月25日~10月20日	展 覧 会	開館25周年記念 明治150年の書II	9月1日~10月21日
●市立市川考古博物館	TEL 047-373-2202		●成田山靈光館	TEL 0476-22-0234	
展 覧 会	小展示「市川出土の縄土器」(仮称)	4月1日~9月下旬	展 覧 会	成田山開基1080年祭記念特別展「参詣群聚するは成田 の不動一成田山開帳300年の歴史一」	4月28日~5月28日
展 覧 会	小展示「ケテ打組紐の世界」(仮称)	6月23日~平成31年6月9日	●野田市郷土博物館	TEL 04-7124-6851	
その他イベント等	博物館サマーフェスタ	8月18日	展 覧 会	市民コレクション展「本橋尚徳さんの水彩スケッチ 野田百景」	4月7日~7月2日
●袖ヶ浦市郷土博物館	TEL 0438-63-0811		●松戸市立博物館	TEL 047-384-8181	
その他イベント等	第23回ミュージアム・フェスティバル	6月2・3日	展 覧 会	館蔵資料展「まつどの江戸時代」	4月24日~6月24日
展 覧 会	市民コレクションによる内房の観光と交通関係展示(仮称)	8月4日~10月4日	展 覧 会	松戸ゆかりの美術展(仮称)	8月4日~9月2日
●館山市立博物館	TEL 0470-23-5212		展 覧 会	開館25周年記念企画展「仏教伝来とシルクロード展」(仮称)	9月22日~11月25日
展 覧 会	新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」	4月28日~6月10日			
展 覧 会	収蔵資料展「美しいもよう」	7月28日~9月24日			
その他イベント等	博物館・図書館合同講座「なつやすみ宿題大作戦」	7月~8月 (全2回・期日未定)			

館園名・行事の種類	行 事 名	開催期間・期日	館園名・行事の種類	行 事 名	開催期間・期日
●茂原市立美術館・郷土資料館	TEL 0475-26-2131		●八千代市立郷土博物館	TEL 047-484-9011	
展 覧 会	美術収蔵品展「春の優品展Ⅰ」	開催中～4月11日	展 覧 会	第1回企画展「高津姫伝説と八千代」(仮称)	4月29日～6月17日
展 覧 会	美術収蔵品展「春の優品展Ⅱ」	開催中～5月15日	講演会・講座等	第1回やち博講座 5月13日 第2回やち博講座	8月26日
展 覧 会	郷土資料館展示「東條一堂の書」	開催中～6月17日	その他イベント等	第1回子ども体験教室「勾玉作り」	5月5日
●八街市郷土資料館	TEL 043-443-1726		●和洋女子大学文化資料館	TEL 047-371-2494	
展 覧 会	特別史跡指定記念「千葉県まるごと加曽利貝塚イヤー 「加曽利貝塚ミニ展示」	7月21日～8月31日	展 覧 会	企画展「大胆・超絶 刺繍の世界」	4月4日～6月16日
			展 覧 会	ミニ企画展「永井荷風 市川での面影を追って」	4月4日～5月19日

詳細は直接館にお問い合わせください。

* 展 覧 会 案 内 *

鎌ヶ谷市郷土資料館

鎌ヶ谷・おふだづくし ～信仰の玉手箱～

お札は神秘的な力によって、災難を除け、幸福をもたらすものであると信じられています。鎌ヶ谷市郷土資料館では、これまでに収集・調査した市域の近世～近・現代のお札を展示します。同時代の人々がどのようなことを願い、どのようなことを恐れたのか、昔の人の“こころ”を感じてください。特に「寺院発行のお札」と「日蓮宗地域のお札」に焦点をしばって展示します。

<会 期>開催中～5月27日(日)
<料 金>無料

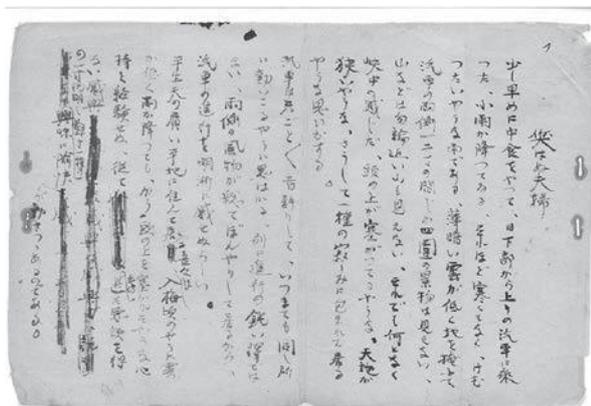


寺院発行のおふだ

山武市歴史民俗資料館

伊藤左千夫の原稿

歌人伊藤左千夫は「野菊の墓」をはじめ多くの小説を執筆しています。資料館で収蔵している「笑はぬ夫婦」・「醒」等の直筆草稿の写真と解説を展示します。左千夫の直筆原稿の趣・迫力をご堪能ください。

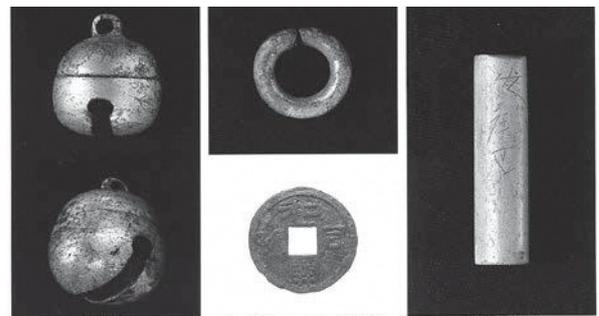


<会 期>開催中～9月9日(日)
<料 金>一般130円 小・中学生・高校生80円

千葉県立房総のむら

千葉寺地区の遺跡展(仮称)

千葉県千葉寺地区の土地区画整理事業に伴って調査された、遺跡の出土資料を対象とした展覧会です。出土した考古資料の活用を図るため、旧石器時代～奈良平安時代の歴史上・学術上価値の高いものを展示公開します。また、開催期間中の解説会などを通して、地域住民をはじめ、広く一般県民の埋蔵文化財に対する理解と認識を深めたいと思います。



<会 期>7月14日(土)～9月24日(月祝)
<料 金>無料(別途房総のむら入館料が必要。一般300円、高・大学生150円、中学生以下または65歳以上は無料)

日誌抄

事務局

■第1回役員会

平成29年12月21日（木）13時～15時
 会場／千葉県立中央博物館
 内容／平成29年度事業の中間報告等について

研修委員会

■研修会講師打合せ

平成29年11月7日（火）14時～17時
 会場／千葉県立美術館
 内容／研修会について

■平成29年度研修会

平成29年12月4日（月）13時30分～15時30分
 会場／佐倉市立美術館
 内容／博物館における展示照明について

■第2回委員会

平成30年2月2日（金）14時～15時
 会場／千葉県立美術館
 内容／①平成29年度研修会について
 ②平成30年度の事業計画と予算について

調査研究委員会

■第2回委員会

平成29年11月22日（水）14時30分～16時30分
 会場／千葉県立現代産業科学館
 内容／①研究報告会の概要について
 ②金谷美術館への視察について

■視察

平成29年12月8日（金）10時～12時
 場所／金谷美術館
 内容／①研究報告会の講師依頼と打ち合わせ
 ②展示見学

■研究報告会

平成30年1月31日（水）13時50分～16時30分
 会場／千葉県立現代産業科学館
 内容／「博物館が結ぶヒトとマチー博物館と地域づくりー」

広報委員会

■第3回委員会

平成30年2月20日（火）10時～12時
 会場／千葉市美術館
 内容／①『ちばの博物館』第141号の編集について
 ②協会ホームページについて

地域振興委員会

■各地域ブロックの活動

平成29年9月～平成30年2月
 内容／各ブロック会議の開催

■ブロック代表者会議（中核館会議）

平成30年2月23日（金）10時30分～12時
 会場／千葉県立中央博物館
 内容／①平成29年度の各ブロック活動報告について
 ②情報伝達訓練の実施について



編 集 後 記

『ちばの博物館』141号をお届けいたします。
 加盟館園の皆様におかれましては、いろいろ
 とご協力を賜り、誠にありがとうございました。
 さて、今冬はほんとうに寒い日が続き、たい
 へんな積雪の日もありました。広報委員会の編
 集会議も積雪予報のため1回延期になってしま
 いました。ところが、延期した予定日にも一時は
 降雪予報が出てしまい、これはどうなることか、
 と思っていたら予報は好転、無事皆様のもとに
 最新号を届けることができそうです。

（風間）